朝師軍司令部上四日正午後 面御展敦、同九時四十分種

朝鮮神宮御参拜

粉御路和高み)

イルの所能源泉たるエチオピア第

の大詞ッアナ湖を跳む肥沃の高

の建設を急いである、前して青ナ

のため國際條約を公布の件(個)とを期し候学を別に生派外的兵舎、猥褻司行物流が及び取引器は「キド村『よいコマ・リコン

式に権民地連続の先輩者たらんこしとの文字が別まれてある、なほ北

[東京電話] 川久保養原局長官

局長更迭 資源印刷兩

【東京市年】闇蔵決定事項左の如 閣議決定事項

将七自身もムッソリーニ信相の意

全力を歌げるリー軍

関下は我等をこうに導けり、我方と 雄大な全身體を測み上げその下の

等はこくに良く止まらん

を競して破るべく上面して運用兵

十分朝鮮神宮御祭拝の後市

御恩県は三笠宮殿下「上)朝鮮神宮にて「下」 度會雙附近(渡臺雲高屋御先導)にて謹寫

**地帯省官制中敗正の件** 一派地帯け随指工作の中心とされる

陸連絡設備を開墾に對し無試を以 に於て朝鮮の雄盛、循建南港の海

質付すべき動台決定を見たがおし、清津は設立命々さびれる傾向を

に集中し選冊に入るため、雄虚師 る

のた關係上磁管は物が大部分編建しの無磁管付するに至ったものであ

張り削進部除以外に上氏指標工作 期間たる意味はイタリー軍全體に

をぶるつて ムッソリ ーニ首 相の

が書々収められんとしてめる。

の相く趣行された

ることに決し二十四日の翻議で左 今回後進に途を崩く意味で撃退す

開始されてするとでは

ザベバ城下の盟ひを自建に語って

【オンダール二十二日電池】マギ「アナ湖に燃んで鑑え立つ竣しい岩、部エチオピアの鑑煕には微々ま1」参西郷田刷局長は缶出穴。しきためサベバ城下の留ひを目むに燃いて「由の垂直面にはメキシカ出身の「リングが」

宇永久施設を始む

山の垂直面にはメキシカ出身の

将士が 罪分けしての4

三笠宮殿下

【東京電話】二十四日の尾側部部 | は遊來難継が崩滅の管理となつて | 通ってあるためこれを敷縛するた

けるの閣議で勅令案決定

無償貸付

外交、関防步課を一にして進む **西田百相以下全額前出席** 行を減べて各限所の網解を求め更

に旅館提出法律案につき各階版上

有田外

宇

内 陸

水 野

海相

二、與北與業株式會社法案一、東北張興電力育址法案

を踊りたいと思ぶ、而してこれの周辺に就て協議し事務の創治を、外務三関原が居嫌つて常面海、外務三関原が居嫌つて常面なめ今後征護や唯日関源の後距 解の事務打合せの實施で は、 という。 をいるがも異なりの論様由する。 をいるがも異なって、通信議會に は変の外は成るべく通信議會に はなの外は成るべく通信議會に はなの外は成るべく通信議會に はなの外は成るべく通信議會に はなの外は成るべく通信議會に はない。

清雄兩港施設を

との総言もあったが結局既に算定。」」動の演習草案を開墾した、これに 那漆顔における原田百相のル政方部を逃べ続後に駐選出記官長は特 對し各職はより配々が見が飲出

ベベ城

下の盟迫る

能能に促出するやうにしたいと云された法能素は出來るだけ今回の 京意見が大勢を占め大いで<br />
水田指

散賞した たが結局最後の決定は二十八日の

**建報高等官(二等)** 建軍技師 大山秀廉 

総で左記九法割案を撤録に提出す「東京電話」或府は二十四日の献 ることに正式決定談論提出の手燈 に頭をひねつてゐるが中々に名案一を回避してゐる顯常上當然ドイツ 外務省の高級技人並は英面目 拓務省參與

提出法律案決定

信じ込まれてしまふに很があるの

うちには何時の間にか真人に

で、それからそれへと解へられて大闘に吠えて萬犬質を献ふの類ひ

が省もほと/ \手を焼いてゐるや に放送され出したのには日本の外 た、しかしからいつたデマも

源地となって世界

夏京電話 もう下火となつたは

日獨河商戰一覽表の作製

日の閣議に於て決定を見たか今回 【康京電話】拓務省に新たに参興一八醇、商工の顧節音音動伝統より 設置旨制案決定

| つて来たくの陸康、海康、外海、 | を附上してふるに過ぎない の敗正主言は海外移植民拓強事で一協器に當らしめるが繁殖は新雲り を置くための官職以正案は二十四一敗名を参興として選び拓叛局内に

あつて外部派に勘算方面との連結

【東京武祐】小川西相は藤曹を前 特許局長官 竹内氏决定

半部各級行の預金引下げは

り質随されたが各金融機關とも

暫定的「兼任中のところ職鬼筆歌 問語工省に帰局長竹内可吉氏を出 用することとなり二十四日の潔蔵 | telaに加一次省内人泰樹新を開 たが特許局長官は吉世次官が

竹內 前晋

信火

免特許局長官

スチナ騒擾

三日同盟 回教徒 らブラビヤ人の新路日でテラウイ ○疾感撃症長 廿五日午海上時四 ○疾感撃症長 廿五日午 第二時五分着で騒城

放火、暴行起る

天地支黄

(線外赤)

は全く社能するに三つたので東市

とユダヤ人の国立施事鑑々機化し

ず官蔵はその鑑製化を恐れ厳成中

るがヤッアでは造所に小麦合類或

海軍紀念日を中心に、結核撃

はれる有志の謝証際に出職してを木行監院、最近戦々として行 も、火曜館の立場は日野だとの

既族院立革の普頭取火曜曹の佐

植林地が共に輝き掘はれた。ヤマ

との暴行が行ばれてゐるが、ヤフし自動曲金融重要単に放火するな 年上に釘を窓布して交通が割をた とよ警官隊の手で総重警戒中であ アラダイケ、ヤッア 間の交通場信

ノのユダヤ人は親々五キロの道程

のり、一九二九年后職事件で有名 のテラダイダに向つて避難しつよ

ヘプロンでは意識の命により

民はエルサレムに避難しアクレ

都市に避難方を命せられた、 ファ 在任アラビヤ人は認起業を

小部名の住宅は附近の

書、各都市に於てはユダヤ人首

運動の中心地であり消平部であ の回教徒の一番後継が置行され

> ある』とて、鮨の思起治に聚り アツク艦隊、結核、バチルス部 「引ばかりか跨までもちゃっ 仮学 「人間の影虫も塵除するの要が 半島民衆の健康を脅かすべ 第てドイクで 宝虫撮除協館が

たい自分ら

で火をつけ 06.130

ウノへありますからす。なとへ れば佐々木俣「同じ日逝でもい

歩、踏み出されたやうにも見え 瀬鉾画境問題解決策への第一 一番日迎々、海長にく

そつとして置からり

き」解ければ上いだ火になる。

すのでし

して下さい、備除いたしませう」

佛香てるに指い気がした。 答を見

趣信には、肌の霊が愛されて、

「落着いてをられま

「どんな様子ぢや」

は日紙ですからネー ばのぶり出しなども見たところ

本日朝夕刊十六頁

件死傷者百餘 レスチナ事 日獨同盟の亡靈…

退散に妙案

毎週金曜日の閣議後居殘り開催する

必要ある毎に首相も出席

(灣)會議設置決定

子门 多 商当 島兒 人行勞吸輕點 介之三以小 人 尉 日 日丁一至子太清榮京 社報日城区 批合資合 新行資

新統治版況について上変配々 大皇陛下に採製即付られ、明

東京臨話】宇垣朝師總督は

總督參內

ならず、最近は東洋市盟制閣を目

は正面から衝突してゐる、しかも 指し、殊に對支置器に於て日本と **熊東北擬興事務局長** 内閣測資局調査官

し日本は政治的に関心を示す ◆……即ふちヨーロッパに引

兼任内開東北張興事務局接敬の如上西部局長官(一等) **新云制局參事官** 內開印刷局證記官

松井 春生

廿四限申謝蜀長 二二等 七曜

預金利下はで

逃避は起られ

大體影響無

が同一率に見下げるよめ重金逃避 少縣念される。」けで目下の處派所 が象は甲種にはなく、乙酸にも多

意氣軒昂のイタリー遠征軍

随し当一務局長 下げによる影響は殆ど見られない は起つてない、賃田本の引下げも

置貨二個常月持器のこと、申込品質線製月班(京城南旬を開発水谷 早稻田大學校友曾新鮮支那春季

(長) 一四九六番 (長) 一四九六番 

◆高山東近畿城 廿四日入城朔鮮 十五分灣列車で闘場 佐帶同廿四日入城朝鮮ホテル 今菊野佐世保護軍工廠長 横山大 「こよひは、お師さまへ影響を、」と、そこにるため

耐は、腹の師の

を振つ

た

一交炭焼き小屋へでも入つて、話し ゆごましたが、あの演繹な御房の一てえ?… あげたいとか喜つて、山へ入つて一房の耳を催つて、手 こんでしま うた ので ございませ こと扱いた側のこぼれ等に置ってい

重應い

るいしい物東もらけなければ不平 も感じてゐない理解の生活かり 配所にみても、歩しも配所にることうかも知れなり 西部は、間をひそめ 服った難して、 「怪我は、そんな」 ともいちど、手

つてをります、するしお立ち遊ぼ「お師さま、お杭の端に書が積も 下石湖. るが、鍵かの だが、その数はすぐ、 はいはい 生信房が怪我をし たといふてを を振つて見せ 善語の耳へ

と、微笑まれてみた。 (さすがに) を、善信は心のうちで

行念はふと、

「申しわけこざいませれ、側心配 據 叛乱將校。妻 こ大変性期間が成のほで用が変件後初め 高石屋教授土井原理院生も出席して語には 本語の意思・アー歴・教会自 鑑学夫 で面田の内職

1 紙型の

である パレスチナ間遮に關し廿三日午後 に、突いつも鄙愛の満たちを腹は 鑑で離ってゐる人は船とない状態 九〇、アラビヤ人七七で人上二 全変傷者ユダヤ人 一二 全変傷者コダヤ人七五アッピ 三元 全変傷者 ユダヤ人 一元 アラビヤ人 一元 オージャ人 一元 オージャル コード・ファビャ人 一元 オージャル・ファビャ人 一元 オージャル・ファビャ人 は宣傳されて來ナが日孁通商戦に 留しない限り經濟上の安閣は成立 イブの方が勝來日本よりも選に 上野ない職能におかれてゐる、 野利思は至く背触し、 利である等の關係から兩者の經濟 の相し、選挙件のため死傷一「選擇でし 越路篇

西側がもどられせいよの は北よりも彼が高弟であると共 **善信の出租をうけて、この配所で** 「願かな得ちゃと思ふなら、 1 心えた。一 と、何氣なく言った。 『恋いなう、今夜は』 か。生信房は、どう 西側は と影内の動がいる

その時、豪善な歌が表の軽下で 『さらだ、町の都に開 で、 西佛どの、お蹴りなされまく上つて來たらしい。 信房が怪我をしたとい と言つてすぐ、思ひ出したや しと思ふ間に置音大き

2  $\mathbf{m}_{i}$ 

猎。

色丁極大尺附全大單ん生スル用夏 だ場め計ま録くのにな用マ型新服・ 上之ではで。後型作初新「の型、大之安で海洋性紙れ心型ト流夏標ち 評を上すへ裁的つるの夏な行服快や 判附り。た東のき全方服婦女、なん可 て録な受空用大作部にが人兄テ男用実 すのの用前の豪方實もど異、プ兄型し 、 で特めがの参挙で姉随と異、プ兄型し

英 治

Щ 村川 花 1 作 (104

下方は、まない。 大さい、するので空前の銀を ででででででででいる。 大さい、ででででででいる。 でででででいる。 でででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 でででいる。 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。

一出されるのだつた。――今もその一編の部屋へ、自身も出て 「呼んでおいでなさ

一部のみるタ 蒸档

回記念点と共に澎洲事態に出催し「脳子とになつた、午前九時から式」に際して軍事思想の習及につは眺立記念日に當るので、第十七」る異め意義深き工長祭を大々師に「養内を開放して豪觀させ、非眼山工長第二十大家では二十六日「寒園の館めとなった宏觀を退崩す」與をあげ、腹いて十時から一 野野家から尼用に 似齋藤子の遺志で **血會事業に干圓寄附** 氣の毒な子供たちの施設へ も 龍山工兵隊が二十六日行ふ つて來た、社會課では 府批資源に金干削を送の一部にと、廿五日本 天勝、軍人劇、模塊戰、新兵器 な工兵祭

少女を可愛つてゐたの放子餅がことの外少年 で、学島の氣の跳な子 他田長官置土産に 千圓を武徳殿に寄附 に使用することになり供達のためになる事業 協議を行つてゐる

っつ

0)

探しに來て次男松容が方(ず)と特 一なつた七歳位の吨の男兒を龍山

三日夕紀、京城縣御町で迷び見 三人の見を離ているたが、その苦

浅川春

行

情 後川 春

分山田和香 分山田和香郎

盤衆大**アビムロコ** をままま

ゼム双用

最新式自動研

/// 一五〇一七分三天華で

春!! 郊

外へハイキングに忘れてならないカメラは

各種寫眞器、在庫最豐富 明時堂寫眞機部へ

燒付迅速 カメラの月賦開始 寫眞材料、樂品 類 算科、原院の合同運動費を属す 即九時から開墾十周年記念、摩耶、 明九時から開墾十周年記念、摩耶、

全般天氣豫報(25) 海北 東の風 かが明から

#N-11-

マヨネーズ

ハイキングに

ス!!

運動放送!ラヂオ受信器の御用なら

明時堂ラヂオ部へ ラヂオ受信器月賦開始

電氣蓄音器

マイク付電蓄貸出し

組立一切 ラチオ受信器

料材ビラメカ

理修立組器信受オデラ

器銀・屬全貴・計時ドーコレミ器音蓋

上星定提賦月・ゲロタカ・賦月期侵すら拘に品何

堂時明뺽嫁

めやがにツルチュラ苦った人が大喜び

御食膳に

全評に五百の會員を擁する朝鮮成一年よ『旅人宿取締規則改正』

廿五日府民舘で總會

旅館協會の叫

船協設第十二回港層は二十五日午

時から京城府伝譜に於て開催

制定は等に関する常局への要型成

**素裁単低版』「アパート取締法案** 

こるがその中でも時代の進展に

のである

滋養は

美味は… お口へ!

頭腦豐 者の必携築! 

陸軍慰霊祭の 御用を拜しました こうヤマアンダーテカー

西西西

袋

者あり御用は直接本店へ近時弊店名を利用する

ガル

馬にも春來

ばれた駒が女の顔を蹴ってはな 咲いた個になぜ動つなく動が、一 勇みすぎ、婆さん負傷

見てあばれ出し、踏のに坐つて 七申歴者の馬が側を通る牝馬

瀬夕日は落ちて 泉 時

REGAL

みせ花火もあげて版やかに閉くこ

館に出席する館頭第一班百六十名。廿一日間女と東合自動車に同乗京

域に來て、うまく話しかけ網路の

大連で開催される俗國経道協質部(こん)が福洲に行くといふのをきし

鐵道局が手をつくし

朝鮮の大宣傳

**興として競技や角力を隠し、またして見せるし、また十時からは蘇** 

のばせ、さらに一時半からは天 時からは批雑な模擬戦に驚戦を

とになった。一般の人々も子供づ さんのお芝居その他面日い解戦も

是非参觀して工兵の働きを理

**坂大の運動會** 來る五月三日

> 朝代のため列車にラウドスピーカ湾で、鎌倉局では沿線や朝鮮事候 後八時半機臨時列出で大連に向ふ で人城、京城仁川を融験廿九日午 は廿七日午後六時半二等臨時列車

> > 本府後庭の

今年も開放する

今年は遅れた花便り

|面の季泉書で、こは附近の蝦凰第第一て忠慰着の饌も月彩には続い初め||端島売價・開花を行つばかりとなり、幌十八|||慶北・崇陽都は月|||嬰い常の花供りも日と共に並づい|||古と毘忽され、既に亀飾の用意賞 り、今期日中に夜標の日取りも狭端も完備し朋花を待つばかりとな 成された本府後庭の概も、天長旬定を見る割であるが、昨年から開

なしに煙火を打ちあげ非常に振っ 一般すことになつてゐる。

わた、同日は恋夜境内でひつきり

ト往十里町建築工事場の椿事

東の風盤小雨

頃女中杉本されさん(To)が選見

開出でたので直ちに開客

壓巻!次の試合組合せ決定。

殿四川 O八一の自宅ご際の 交"人" 第二十三日十町三時頃

答願し東戦美術部にあつて背景、 域に活躍する傍文鵬春秋に維文を

こ語歌「全年なられなこまでとしるため豚油町電車通り東都入口的その復興自の立場に立つて洋路」の超江面方面の納税者の便宜を計 嘱望された洋 画家

衣裳を司つてゐた人である、飼自

で近に夜間金剛を開設、本月から毎 月末三日間午後六時守から九時空 「記話立然の収料事務を取扱ふこ」 とよなつたから大いに利用された としなったから大いに利用された

五盛を提興される、更に前例の所 興がある 多美し、花火打揚や盛り郷山た藤 の美し、花火打揚や盛り郷山た藤 たかな常替師事は二十五日夕七時一多三ヶカや春智の至に描き出され の通り太幸府の古式に則り古風ゆ。木神肚境内に、其他阴山名物の門 のプログラムによって盛大に執行して、所内銃裁同好曹の銃殺展院曹、 が城の年中行事南山天弼宮大祭は | 末生、他の坊等の各雄生花出際、京

獵友會天狗會

藝術の悩みも深く

一普通學校及び高無警通學校に根底 た歴史教科書副音楽員會を充實しこれに招車をかけ、唯春副立され

京城春のお祭

廿四日から天満宮

城角友質の築納角力は同呼心前に

京出機所建設費などに関連してあ 百萬國に達し、經道局ではこのう

**幾る七百五十萬里は全部銀」とのことで中止、利率の引下げを** 

の中にうなり進つてゐる、一部で **匪といふので借手がつかず、金郎**  しては施設以来、文部省が實行せしめると共に、各価教科書に就い

田蔵二十六月前山驛純隆意本録
・田本採野本會財産による本賞
・田本採野本會財産による本賞
・田本採野本會財産による本賞
・田本採野本會財産による本賞
・田本採野本舎財産による本賞
・一等より十条窓方は二十七日年

三名とも重傷である | 超石機町李成県さんごごはその下型となり

工務所貨権永远さん(W.) 思北清州が削壊して作業中の京城昌領町磔

16

金持ら鐵道派

語語のなどのと言語

んとしてゐる方覚を

たが同一層

的敬育の優正などであるが本居と

**総教育の銀元などであるが本語と『黎教歌に初等學校用までに戴大せ』館を祀すて私の書において本徳朋教を設めて男女申等』に観える諸山の第二は大王義(を置いた開委政館をして男女申等)に載大き浦以第において本徳朋教** 

學校能に初等學校用までに描入せ

學年短縮も企圖す

委員會を設けて研究

佐分氏自殺すり

れることしたつたが、當日の謎一館の設備サービス改善、観光、事 秦の城大、宿料政正等が重要だも

一千八百人を三班に 

二千十八名は愈々三般に分り籐部の和十年度型葡萄婦人移民四百月 

に血流る

汽車に氣をつけよ

圓開放

金庫にうなる 利下げをして運用 **岩行中・四十五六酸位の男が飛** T三年後六時四十分頃、松麗 同八時頃死亡した

満洲移民は征く

内科小兒科 山 レントゲン科紫外線

田醫院

立型ながら、ズットくだけて花盛りの五日間だ。「夜大脈ひを呈してるら(智麗は法院構内の置)つてゐるが法能では肌人を敦くといふ厳めしい。に夜龍を鞭撻させてゐるが歴内:香経だけに観いてゐるが歴内:香経だけに観

(00分)(00)(100)

大邱法院の櫻

刀、消火につとめ低火後は溜まで で派出所に駆け込み火事と知らせ 木典寂方にマッチで放火しその足 全年一月一日午前二時頃前內上洞

「嘉山鰡」去る二十日は密から大賞で市内ニサ、奥地は六寸

惠山に大雪積る

祖祠一一ニミシン職徐巻山ごに

【平響】廿二日午後九時頃府内平【中醫回漕店へ競校在東、たしは去る

【高山】鎮海邑屋和涧一、六五九

腦脊髓膜炎

鎭海に發生

長州は二十日死亡した

寡婦殺し

食川を携へ

今番すでに三名も誕生したので、

南は櫻北は雪

卯月も半過ぎて

【 肩附】 脏器、 氮川酯 經川面長 宮

教會前に棄見

製団に亘つて成火しその都茂自ら

即防組と協力消火に第一記の整態的犯罪全部を目供するに

獣の形に深ふ如く前記徐春山のあ

とにらみ必死の捜査を掛ける一方

附近途院に人院加採中である る。長調酒では那隻殿部の上的を 突刺し自殺を企て激死の重版であ

智慧敗け强盗

ご丁寧に自宅まで跡追る

廿三日送局 取調べすみ

難試験に成功し今交カキの燻製機

一覧めてゐる即ち既報した通り明 ないで飲食の新加工品を海外市場 L價格の向上や脳ることに大量 多くは鮮肉脂脂に止つてゐた 出で台灣を終點に一歩も海外に出

して取り扱はれ晩酸されるが關の 「元山」多重なるが故に下級独と

犬も喰は

加新

監

のは

て

長淵郡下春の慘劇

# てゐる。試験過では「尾立菱に費」と腕つた鼠跡があり今日まで配も「の跛路開邪を低眼することになってのマックあなるであぬうとみぬれ」ある。延續師で脱し訳歌歌で食ふ」の見本を姿的セノヴェート人方面られたさっては脱れ有訳な事「ケのへ人代形としてもつて楽いで「変くハルピン権人組合に右重壁脈に過し跳界も充分とれるといふか」で製も瀕し在時にはサンドウヰフ」ことになつたなほ水変跡厳選ではに過し跳界も充分とれるといふか「て製も瀕し在時にはサンドウヰフ」ことになったなほ水変跡厳選では では深築が取れるといってゐるが一のと生との外科理法がなかった師一てゐる 若妻を殺し割腹

- 1月年後七陸伽副里徹征末方威髄 母襲したのでい世間氏は領職を利 窃殺三派、金正に合いは其の後間線光流の蝦山航浪でよいは四月十 抑入り徳文句を艶べ、田金と飯を の場で進捗された智慧度はの源人(海州) 長瀬郡長瀬川草湖里下草 慶武に保修を賜へた一名の怪蔵が「総博、郷氏」峡に炎前きにされ其 金倉愛を配信後でした。山田町町の一の駅間用氏方に親ひ出し世組氏表で自分の内閣の裏、(在床の数女)かして腕を膝束の観覧で変材製具 女の急報によつて歴けつけた叔父 かして酸を開家の銀箔で愛林契長一批製で酸塩取調べ中のところ二十 郵世間氏のために酸は却つて棍棒 分局へ送致された 一概を喰ひもんどり打つて 怪しき送り狼 一般問題と共に清州法院支護版事三日午後、住居使入帰盗未後罪で

【海州】海州郡局山面賦坪里李徽一所不定李而雲と眺哨後自宅に辟る。| な男を上・蹇祭医院在所段が引致 後三時ごろ同盟 | 途中同面双岩里車補関に差しかく | 取調べた結果忠常公開生わ住所不 | 完全な外盤を保つてをり、箱の内 海州に不審な强盗し で脅迫、食品を強要したが観鬼は

一所特金がなかつたのでご可寧にも 犯人競技中であるが申記書にも任 【大町】懸着灰川原草窓面上室園したといる意景に越し海州麓では 一行商を装み大泥 自宅に怪滅を同行し現金十回を提 供、件の男はそれを受取って進走 で引題を取調へ中

響強隊高唐一松中佐の撃ゆる。権 [元山] 鎮海聖市部所屬第二十六 柿ケッ素クの三糖は東海岸巡航 十六驅逐隊 便乘も許す

軍事要及の目的で配公吏要生に對すて一般の発験を許し出毒の際は 事時被強に軍事活動為後限點も行 になつてゐる、なほ鑑波中には電し長縮港まで便樂を許可すること まで、十四日は午前九時から正年 めるが十三日は正年から午後四時 ル山街に入港、一倍して翌十四日 の途清潔より五月十三日午前十時 後二時長筋に向け出版の愛定で

賣却相談中

中の宣自日した鎌罪多数の見込み取し期記上一里意來て學校に褒却 重上、全立資産製皮で葡萄を製設 1.1日夕方長さ、尺、鰡五寸、高さ、等四回の質念で記憶をあげることに質り込まんとしてある製造不識 無出し李繁智に居け出た、木根のた男を上・竇智は慰花財政が引動 5も「個は既に腐敗し他の」個は になった になった 現調べた極来部宮小根住れ住所で 完全な外部とよう (こなった) 廣州で就搏 (観証石の勧末?)が売順され一方は、一般に別れて一方は朱色の樹木 は「パネ」仕扱となつてゐるとこ

東楽の脚戯大會

【重山】廿六日から三日間撃行さ「が判明、留置取調べ中

多角的調理法で販路拓く もとれで多角形な調理法が出来る しき點あり調査中

機仰の同町金毛根でんと家出し各 の初後親の金三百餘圏を持ち出し 咸興」京城府竹漆町許完(そ)は本

【馬山」部落民の反對で行職んで

いらずを嚥下苦悶中を斃なつき系」の食定である「生活」十分前令女方上勝で描「可を得つて起工し今秋までに要工「生後二勝二十分前令女方上勝で描「可を得つて起工し今秋までに要工「生を迫るので整選に解しる。 これを知った京城の郷光から歸一の後前の翌頃を理解し國際解決し三統を賦許今女方に蘭光中のとこ」は皇定地の内面面姿山瀬部第でそこれを知った京城の第一日、おただ戦温軍運動に対に撃地を戦 いらずを腰下苦悶中を懸女の金英 三銭食店許今女方に藩在中のとこれ来去る廿日楽叔母の威興府本町 地を流襲して所持金を飲ひ果たし

地雷火類似

前二時原本町二丁目中村商店に忍一世町九七穀物を形取資業金南蛇方一 意志が内に流れ込み二十三日午 と義常、原日午後四年後達面さ |で平壌に來る途中大原花で表水し | とに搬撃された 馬山の火葬場

駈落ち男服

できるせれ、電源手の職業に 権機 はがおいる変更する火災事性を放火 | 総に因んで資業してあるのを喧嚣 | 大事とはかり 原華之の他を制度 水火を におくれば火却であるが正山著で 確かに一時間近距過した男兒を蔵 | 定されたので、戴善芸商井架で なかり | ののののでは、「一年」のでは、「一年」のでは、「一年」のでは、「一年」のでは、「一年」のでは、「一年」のでは、「一年」のでは、「一年」のでは、「一年」のでは、「一年」の他を制度を収集と 元山を戦慄さす

特配電報が

郵便所の怠慢非難

「瀬川郡湖川西後宮 べく同日午後八寿三十分晋道教金 六寿南く経手したとの答左ので元郎」 に作用る ので師氏は黙考の上整師を同律す 護くべし、同意報は二十日の午町 に信る流現株元石以に含電した」かと明ねたところ、昭和の時世に で、そ、これでは、またのでは大いかとい記してかった。 をいっては大いが最も作品に振り他帯状態に、たのでは大いかとい記し二十月朝 のでは大いが最も作品に振り他帯状態に、たのでは大いかとい記し二十月朝 のでは大いがは、またい。 安なるか否かの既合せ | 古野宮を調査した結果前日午後八世院を将金まで納付し | 石氏は大いに借り週刊駅便所に赴

り数してゐたが、去る十八日府内

蓋づて各地を無面・弱級を働きつ「墓師里李東姫」こと姿態質を歐闹「三風を借して臭れ」と称東巡の名:大大四隻鑑頭字墓姫」こは行廊を「四一〇我®獲」こは昨年十月瞭よ | たので他船ご着みかへる人夫歌十六大四隻鑑頭字墓姫 び込み洋展二十巻線を鑑み出した。に至り、「今週五百六千度を覆み」最とをこの理論を二十三日年態をで込み洋展二十巻線を鑑み出した。に至り、「今週五百六千度を覆み」最とをこの理論を二十三日年態を をもつて詐取した外間標手でき つて数三百厘を詐取消費してゐた

命新茅公立曹趙學校長 命利原公小、兼利原公害勤務 任訓導策公費訓導 命仁山公立習賞學校長

査中、店の金の二丁能園を極端

【仁川】 府內龍里 唱歌闻商和陶商

遊興に費消

放火しては消防に協力しつゝ

集德長、山口至彦、茂翰紀一、将朱峰原、南木峰町、南池岩三、四川光天、千宗夫、原垣英三、西川光天、千宗夫、原垣英三、松井。 慶北辭令

晩さばる 配達は六十の老人

防犯デーに詐欺に籾泥

夫郷発集(Po)外四名を淡描 み出し船に遵み込む水原生力 地帶内の倉庫から数三十呎1

電柱に

関備に解決

豫定地に移轉新築

死産見の屍

犬が咬へ出す

變死體

防心デー第二日の網にか

が関えるので不審に思ひ、プライン・大学である。 を一般打造(十十二日午 解釈の上は自他教が判明する。 時頃表闡釋内の沿岸街図 と見られてゐる 血塗る輪禍豫防 交通道徳を守りませうと

の職績が一時に撤増するので金カー以上の老人で自轉車の心得もなく「年増」平域署では春とともに街一のみか、電報配達夫は一見大中部

平壌署の民衆訓練

外大代面大頭里愛電所要の疾語場 【墨南浦】二十二日午後二時頃頃

をあげて民衆に交通顕微を即き込」となったが、現本の理能は日本り人にピラニ孫女を音野校に配付し、A開際上映用人の優越は国より人にピラニ孫女を音歌校に配付し、A開際上映用人の優越は国より人にピラニ孫女を音歌校に配付し、A開際上映用人の優越は国より人にピラニ孫女を音歌を明き込」選起の旨を述べて引上げた不祥事の報報が、根に選進明戦を即き込」選起の旨を述べて引上げた不祥事の報報が、根に選進日本の大学、現本の思報が、根に選進日本の大学、現本の書の表 職日を交通安全ゲーとして交 咸南辭令(計) 億すべきであると非難してある 【成典】大神宮境内の成典思想碑 咸興の招魂祭

魔な埋蔵物

平壌で道路工事中四箇も發見

れる東東道防御主催の脚監會は一

兵器隊に鑑定とふ

命仁山公立習通學校動務 陳客縣 期九時からと決定した、但し本即で行はれる奢季指領祭は卅日 は原則のみで解判的な関しは計 廣州の火事

高東ライリー・1948年 大 吉 たものと判断した 常 東 で に か 自 華 で に 放送な 変 使 近 の で の で の で か ら ま うり しょう と か ら ま うり しょう か ら で か か ら で か か ら で か か ら で か か ら で か か ら で か か ら で か ら で か か ら で か ら で か ら で か ら で か ら で か か ら で か 命占際公立曹涵學校長 小野 兵鞍 国工時半銀火した過去は約五百里の一個工程半銀火した過去に一年を出して 【版】二十一日午後二時版州

少々諸関に願するが 脱る日熊本利平り

の金利時代の利率 の金利時代の利率

云な化粧は お肌を美し

₹

ンの作用 キメを細かに

的に配合したものがウテ てキメを細かにすると同 モンは皮膚の細胞に作用 レモンクリームです。 にお肌を真から美しくし っ。この長所をとつて化

細かに肌を美しくします あつて肌に溶け込みキメ の脂肪を含み快いネバリ テナレモンクリームは適 ンクリームの特徴

お化粧の基礎條件 化粧下として最も適したもら、近代化粧の基礎工作に です。 粉のつきがよいのですか のクリームは肌に快く、

おヒゲ期後にも ますの のおヒゲ剃後にも適して 香を漂はせますから、男 を整へてほんのりレモン



井局最大人以下全天人連四十餘名、局から禁門務郡、第二時から京城西大門の教費局製部所で配された。といい温かい住では断報した通りであるがこの打造

お藁を飼ひませ

原果大量と含はれるほど、大石殿 がら経念室極、愚者の丈助にまで 指して飛び出した。

弦に空って三年は最早や何事も

締め、私の前には毛鹿を布いて、

馬座の丈助は、

の打合が、た眞龍を國策の家庭

置みの心を行動に現したが被害者 その點に、何等の心脈はなかった 三)犯人はやをい身を起して いつとはなしに深い眠り 犬が飼ってなかったので が置いてあつたので、それ

内部の除于を関ふには寔に好都合 たので暗闇の路地に身をひそめて はラデオの九時半の時報が遅れ

(二) 犯人は附近に街道がなかつ

り動は破れて盛みの心は完全に復



「眼の力」と「理性の力」の

イトマレッワスレタラ

たのを垣間見て仕事した、五割

は何國も此國も不完全だ、炊卯塩(六)春先の第の職みか、戸締り

**急ぢらよりいと弱く彼人すること「窓を欠し振りに聴つた狼人も一と」らこれからの行樂シーズンをに崩っら上になれば戦の手人の声は音もなく聞いて子供の手を「釣とした大金を手にした腰飾の快」不幸な出來事ではあつた。それが「し、不潔に流れる。帰** 

と居たとしたと、戦はこの犯罪

演復せられるものである。特に體 は過少都で、死亡事で

延つて聴眠は見遠に大きな意義を 出來方も多く 幼ければ跳い

はすから、急いで行って來てくれ、 げだ。まだ那く四つ半斑だ。これかヨッと認が魅すといかん、落は急 アー、剛呆火益の所でがすか、

脳踏もなく れも重く、一個の身になんとせ 納め、礼を排出して香爐を供 **加羅をたき、朝へ二通の遺費を置** 

き、また一枚の短冊を取り出して 衣服を脱いで新たに音器へたはり 記遊無数の小師、白問多の帶を 登野の里に消ゆる白菜 **有利。家庭工業** 

囊炎

美術人形點開

あ

やかな家庭をつくる

的飲料 

■からした旅遊の時は、頻根のと 題ひたいものであります。一十二世ますから、波の浮き方に御往意 もなく品のよいお婆を生れさして

れて他の食物に残つても変十二時 に属ぐる器に元すが如く、乳を配 間、觀察口、三時間と云ふ風であ れをさまたげる事はいけない。 と云小風である

夢を見ても唯服を閉ぢてゐればよ 唯匿宝に権はつてあればよいと

あるまいと、斯う思つたから三平

る深さが大でなければならない と言ふのではなく此の時間中は にほどよい。從つて問題する 眠る面積 が廣ければ

++可愛い子供の 春から夏へ

◇◇育で方

く眠る春野、制値子金の高葉の間の活動に依り子供は 制値干金の高葉は我 解かにする等といる様な建意が り、戦は商買上の打合せなど、 る問題を作ってやらわばなられ

子浜に醪の如き

ばなられ。床上の體位をよく

成一大原北岛第日岛南北部三大大 阪 教 終 所

月やく流經器

膨助へ宛てたる遺跡を認めた。 して我が臍を辿らする。それにて 出債券店

作れて居室へ入る。 た將來のことを相談

なさらんでも宜いではございませ

「父上、なにも今晩左標なことを

三年はいかにも丈助を親の際に

忠と孝の板挟み

萱野三平 (9)

悟道軒圓玉 一はし、初めてホッと安堵の息を吐一はし、初めてホッと安堵の息を吐 石の許へ手紙を持たして

てくしいお

るなに養榮

に厳格と制つたと作ら、家の中の総子は一月に

箱を足場に

盗られる方に

開始の方は思ひ切つて、顔を出し 上げる思をなさいませんやうに。 の形の悪い方が、無暗に跳を掻きぐに鬩く際にまありません。交厩

腐民のやらに部の美の

製の上の技工にして置き

したからと云つて、す

る卵質的美を出 かしいものでし 丁事は中々むづ

一智的美

ハールなども顔にかぶさつたのでしゅうエーがは、きまつた形でなる

隙が

あるの

例

例があるのだから連織してはなり

ません (ついく)

何びる何び

3

一見勝藏氏談

尺の塀を越えた泥公

春宵、戸締だけは嚴重に

忘れようとして歌遊した、華やか れない怖しさを感じられ、題でを 並を身に附けて居ることが云ひ知

の刑務所生活を想起して潜んだ大

街路に踏み出した時、

ば料理屋の二階から客の地下室の

近先きの

できす習慣をつけるがよい

尖つたものは

の暖気に開放された同家の茶の間

に重い足を引きずつて當夜被歌

(五) 家の中には晃々と電場が點

(七) 犯人は大艦に被に消火婦の

この個人の行為については生物の

しであつたので自分の身を

人の封間を懐にして何處ともなく もしかとの不安に戦きつゝも目

いた茶嬢節の抽斗から三千五百四 枕 を告いできて見解けて置 限りではありませんが、若し故無

被害者の為にも重視人の場にも、等の影響は組みずに遅んだかも知れない。らぬっま 犯罪 といまだが行動

つたり、孔があいて水があるもない、目の小さい、光澤あり世が高かって水があるのがよい。誰が高かけ、光澤あり世

れを思れて避び戦れた児童にとつ

山科へ着く、史助や、蛇ひ銭は造「方へ富い器を載す。どうか不幸の山科へ着く、史助や、蛇ひ銭は造「方へ富い器を載す。どうか不幸の「なまりの足で行けば明日の郷草く」方なきにより、漢よく切骸して双

表め、女の道を立てよくれ、返すたおそでに宛てゝは然るべき天を

想

久野印刷太會武

PROMERTY INC

壹 』 預 金 聞

ノンショナル教育沙

特徴は點火時間の永いことです 特徴は復活力に富んでゐることです

松下配電他採式會量

# 場疾患には上7人)

〔適應症〕腸カタル、醱酵性下痢、消化不良 鼓膓、食傷、常習便秘、脚氣、小兒下痢、綠 便、老衰病の治療及び傳染性膓疾患の豫防

のリヘッに殊ってまい養か機能に指非に様の知承御は中振・

を機構も物べ具、でみし苦の母の死り通学文はどな人に選

いせいせを胸とすまみのを止のこれどれは方なんこっすで稈の小領

のマナルするもにずが併け入のとりとするで、研究のよの外、せつ とを奇様の呪語、美術を緊張の職品とすまひ用に前種。すご知道で

仏病る本の無

かと湯重ち組、物食る中要を化消に時なんこ、く易り盛に

は『のこり『"。すご難類化剤は湯 ジー、かと腳端は吸いかと開お

げ、を築元、しに快爽を分類、りなに登録でおさ枚吸ずせ要を化消

ふ、七科養養る液出解信も最はに呼るあの劇、ごのすまり去を免疫

児幼の足不乳-四

の赴すまっこりとでに党幼のれ離乳かと見幼いなり足の第 も単に果康とすまじ版を集中にれる、全利給補護策、なよ

田、土理兵黨内省、は方り作の料養業のこ。すま來出が料養業し近

の皇帝個、いかすまり匿てれる遺跡に一一論相見青一一連上博多时

無理さき下込申例、部事商社談議會標準本日大・川石小道東 utf 。いき下込申師でな態逐節、十まげ上し申前送御で料

るよましくよを立肥とすまび用に後輩、↓く

實實元 大阪市道勢可 警話 武田長兵衛衛店

ビオフエルミンは腸管内有害細菌を殺滅し、脇機能 を調整せしむるほか、澱粉及び蛋白質を消化する作 用を有し、腸内腐散・異常懸酵・毒素吸收に因る中 毒現象を像防するを以て、 鵬疾 患に對する合理的領 剤として廣く鑑界に重用せらる。

し味美

### 人の役産前産 人い品の賜門

**蓬栗での心をまりあで分十が用作化消の程間は人い弱の監** 部は方なんこ。すまひましてし朝義が確身でつなと足不が を化消の腸胃は 4のこりとす。とすましたい用愛を 4のこりと7日 を能権の帰営に上のそ、で分成主が選集・諸衛衛るれる後級すせ要 対義策、Lに完全が開闢でのすまり居でAの高を触ノミアるすに原旺 。すまりあての名すに腐旺を揺れ、しくよ

#### んの質体性核結合

もな要点を開始のらなけてくなに人の質體性技能は各様な金! 央部 ぶの一復性がとこるすに器旺を力器。すまりあでの ・完 類像るあど漁機の力動活體人は ものこりどす 。すまり居ておは云と を夢露、しに臨旺を力體と自依をれて、与かすで分成主が糖果・糖 類論養薬の上以れこ、そのすまげつを領元、しに快興を分類、り去

#### 人の質病腺尿症

の色組、人、しゃ新くなと何處た見、人、「最多を手を取風に 常 が る下り上が日本記でいるとするで、新でり入りである。 別信もす漁場を力能もかし、てめ飲くし味美に常菲は『のこりど7 備てしい。地、宅が深、けつを力體次濟、らかすまりあで利義磁るあ 陳新、てしに盛旺を能機の官器諸郷内、りなくよも色血、りなに快 。すまし促シ酸代

### 人の弱衰後病

ましを生蓄不に期時のこ。すまりあで個大に発は養質の後) でふこけつに傾身たへ後、ずせ復敗へ伸が力體たつ場とすし 表が力値は 4のこりとり。すまりなにとこふ版を破益が落房の木色 **修禁錮を類日毎。すまりまで著願は果効養薬のそ雇るのばしるてへ** 力の闘身く全は用鉄の後膊、もに状態るす着到に駐小日毎。いる下 。すまれら來てし談賞と、早か復依 し、進場を

木上召口毎非是七方誰

主·成·

蔔 酸糖糖

#### 児場の良不音聲

ナーベル、空報信取扱分子を音楽できるが、器化清な局段不育 ) 接 6 と3 ち ・ あんせまりなはなけなしに健康を解解、らか と 。ナミりあで製化がとこる小具日毎を利養業もあ用信な機のものこ 分成主义、かなに養姜でいき収吸もに人に蜀の帰属は私のこりと。 **開発**一でのてまりあかき働るすに心理を能視の個層は繋ノミアの中 ってまりあて料査酸の得

# 博士 發門

特 許

對局者の言葉

復讐なるや阪急

田戦術

他身の向を變へる三宅艦隊

武者振る京電の新人群!

初映畵の栞:

へ生態値

展く混線型肉弾戦

等の観』「人生のお荷物」等 

· 日活東京作品

出 來 3





1、ノンノ はれちゃ大變だし





がに一等、二等、三等の高價なる大賞品あり 一錢本の 置響界の最寵児 一川五十錢分每日 人も残らす 今こそ…… 必要な仁丹の御質時! 三册合本 V) VC 進



上陸第一歩報知新聞社の世界の権威サンガー女史第二回目の来朝



色漆瀬! 

浴用の 貴の夢精 生生精 精

取扱ひ易いにからいが確が前に少

自国

昭和の常識 宣傳の為めの大贈賞

始細

者提携の

牛歳の交渉空し

口埃會商の岐路

口火が朝鮮

四大阪商船與出帆

一瓣戶附種。一個門一

外外れるわけであった。 神の大力を表現では、とする思ふっまに低らりで必順三月に続ひれて、一次二回日に続ひれる。 一次一回日に続ひれた。 一次一回日に続ひれた。 一次一回日に続ひれた。 一次一回日に続ひれた。 一次一回日に続ひれた。 一次一回日に表現である。 一の日に表現である。 一の日に表理である。 一の日に表現で。 一の日に表現で、 一

九州郵船株式會社

新型・1番・1 円 組 株式會正 版 田 組 株式會正 版 田 組 株式會正 版 田 組 に 1 日 (有世) 二 1 日 (有世) 二 1 七八番(有世) 二 1 七八番(有世)

える旨は

入者のため社内診察、書面相談等兄ゆる醫學上相談部を新設して、最新科學の粹を集め、御加に報ゆるやう努力して居りますが今回更に健康

の最高記録を牧めました。「保有契約高は此の間ナ倍以上に達し、斯界け、保有契約高は此の間ナ倍以上に達し、斯界の最高記録を投げれた。年々加速度的躍進を緩

見給へ

Ŀ

齡 木 商 30 30 100

株式會社

門省御用達 味の葉本舗

) prominionii '

(標商錄置)

車京市京橋區實町一丁目七番地

鈴木商店出版部

新編一家庭料理」百年頁

發幣 行社

**| 内院の間に** 

旨を述べた後有田外相、寺内陸相

る現在の政治情勢において、お時代となり國策の投幹をなして

# 乎たる決意で折衝 し断乎たる決意を以っと我が主張を作くまで貫発する決し、正正の間に安留い立し、監査の側の従來の不誠意を訊、鑑賞版書、鑑別続終、鑑成機能なは、「丁三日女の思密融票で用大使に訓令を發し蘇聯」を申せに留き発売及び留意鑑は、そのて原閉された上下開始の對立 飽迄我主張を貫徹する

- 四日大田駐蘇 問題《報報の問題 せる過程決診を励めてゐる ることになった即名

際で、若し交渉不成立に終り無係

「近難院側部口順売和、糸麻藍ム」と近難院側部口順売和、糸麻藍ム」とでは、大田田午後四時より福州宣賦に空 東京電話」海東軍が内水館は

入城の一日山郷教は正る

に於ける

長谷川次官はか嗣原宮出席、前日

等を彩銀として合計に於て創年间

31月以來が京中

Н1

職裁歸任

ひ上京十つ第定

設は五月下川石 配任する事とな

生保會社

### 行さる 下四名

精神過勞者は 飲酒、喫煙家

意用の此に後背の療態

特に御注意!

高血壓にも

元典安北省長慶四以下脈続、類案が飛を宣信された迪煕事件の首點 別は関連法的観じなて 塩に於ていかを 1二十四日網8

は獨特にして然も强

ハセスロールの作用

# 省訪問務官が

を急速に正鵬に復歸 緩解して、異常血壓 せる病的硬化血管を 力、速に過度に緊張

しめ……

しては各組大々の特殊事情もあ

トンから米園郷由師朝の途にある 西珠に通道高路 の対象のでイス モーケンソー 三日午後アメリ 脱及びその副 四温到1

血きし正

重、耳鳴、心悸亢進、頭痛、不眠、眩暈、頭

症狀を速に解消して 焦慮不安等の高血壓

京電話」日本與梁銀行では今 對する貸出に 者が目下連日米財務省及び断務省 日の日米館談はこの點にも觸れた 富田財務官との活題は一般的性名のと眺されて居るが當局は壁に に折衝を置けて居るので、二十二 関源磁にクレデフト交がを中い

壓

併せて高血艦者には

験を防止し 腦溢血や狭心症の危

殆ど必然的に簡件す

る、心臓衰弱並に腎

劑

職機能の障碍に對し

好影響を與へ

を移して居る 八……… 工職次官) 廿五日 工職次官) 廿五日

3 文本剤は最も正しる

血壓整調劑として単

市况

先展 第1700 門別 光質動 四四四

錠ルーロスセハ

低血壓

と誤謬せらるゝ症状を呈し

御注意を乞ふ。

に正しい治療を得られる様 い。ハセスロールに張り遮 治療を過る場合が極めて多

小粒錠剤を、医用に各熱學 ハセスロールは祭臭意味の

にも頗る便利な幣億關です 包翅 (銀際書編集)

發 支店 東京市日本街區本町本店 六原市東區並修町 賣工 五〇鏡 二・〇〇

製品を産



眠の原因となりま すから御注意を! 下側は『のんで I 錠

否され同二時四十五分間行此。佐の朝鮮事情の講話を御際し

超、同八時龍山栗田羊、 野越、同八時龍山栗田羊、 野 時十分官民の総裁なる御拳送越、同八時龍山縣御者、同八

北上あら

台臨、朝鮮軍登職大野步兵大

米國の總豫算額は

五億七千三百萬弗

『日同盟』大戦 常時を除いては空前の越大機

京城府広館で開催、出職者は在職館館は二十四日午後三時半か

御機嫌御麗はしく

軍官民有力者三百数十名に選し 定刻一同音唱するや主唱音用 

きめの資金運用

(十) 朝鮮貴族保護資金 四分六厘

げを可決

【東京龍話】廿四日在エチオピア

チオピアに踏み止まると

へ得る用意をなすこと あることあるべきを辿り之に願 、 野來本法の外地にも施行せら

アデザベバ

近中六名くらるを補充することに

勅選の補充

東京電話」戦府は鉄道九名の動 八(出来品一六〇) ハコー一圓三▲石

中であるが二十八日の閣談で正式 如く古い支那股は が出た▲支那文 が出た▲支那文 が出た▲支那文

英國陸軍豫算

**内院通過確實** 

へしと酸令した▲ 南京戦府の意思 のは男のは支那 獅の一つとして 服からベルトを よろしく支刑服 能でないといふ 

便 高血腫や頭痛、不 秘

はこの職族に支刑革命の始退機ノー・ビースである▲國民職府

派はスカーッと 燃をつけたやう

て中山服と命名

は秋冬は黒、春

【天津二十四日電通】十二學校學 の今回の行動は世界場

業骸洋服を置てもられた。全国し外交に 色の二色、服地は

ふことである

**谷駐墺公使** 

部司令官 廿四日四日來駐

低血壓をも之を健康 に高血壓のみならず

黴を有す 血壓に整調するの特 経質者に は残れ神

組織の目的は若き世代の性格を

主義な、ナチス一點張り、ヒト

つた。ヒンデンブルが元帥は、

明れ名所たらの本語を整路たる便 世界大戦はドイツ革命を以て終

脳張りで行くのはどうだら

ヒトラーを以て創世

ク提督や、その他大戦に名を**馳せ** 

ルーデンドルフ網軍やチルビッ

一盤盤からの俗鴨あるに禁しては

といつて動かなかつたったと寄年

チはたドドイツ國民の政治的

『政治のこと子の技にあらず

こにあらず』

治のことわれら武人の知ると

めて、大統領に選出せらるしや

金ドイツ國民の信望を一身に進

で示だ武の深奥に選せず、数

のために侮いた。その中にあつて の後端治に釈正して、続くは蹠治たドイツの名將提賞の多くは、そ

翻演を試みた。そのためには、百

デンプルグの営選は人格の指 以て大統領となったが、ヒン

と云つてこれに認み、至誠一似の

「エーベルトは政治的勝利を

ドイツである。職那の国質を修業これを総盟したドイツ民族一盤の

し、環境の関境もこれを除却し、

るならば喜んで列席しよう。 と飢に何等かの何酸を與へ得

> ヒンデンプルグ元號の當選を許し といってこれを受けた。時の人は

への愛者の心が、語君の猿神

一子の五般に張る祖属ドイツ

受けむ

れによつて見れば、ドイツの敬

頭みの個人の創造こそ

新生日本

の指標

戒嚴令下の東京から

池

田

儀

これを駆映してゐる、樂脈的樂識。

見るに忍びないものがある 制設を放棄するに至つては其態感 一学に於てイタリーに振されてある 方連絡の際節紅海の通路はその西

英國外交の

見我武治羅な男の如く見えるムッ 老巧であった、英國の無策を見た

蜀数的命令以外策も謀もない

煽てられた ラー

ソリーニではあるが、流石に役は

ではないか。然も今に至つて劉伊

欧洲の政局に何を置さるとしてあ 関家組合としての隙間の崩壊が、

力の稀薄化と、帝國主義的行動の

ン・シーラッハ氏によって、初めて

體験しやうとしてゐるのである。 風によって生れた国際観点の上に した歴史を、吾々は今カイゼル暴

- イサ青年指導者バルドル・フオ **- 脚、ドイク少年融の地區指導者** 

千名が、ベルリンで霞合した際

湖はイタリーの掌中に握られ、東

誤算し、却つて ムラソリーニの第一 槍に依てこれを追從せしめ得ると

老巧ムッソ

運動に携はつた影話をもたね限り 少年の使命に關し、次の如く述べ の重要性を指調、ナチス治下の散 ドメントを引倒して、青年組織 武装強化による條約無線の反動的間線定を作らうとする風潮と、階級除級政策としての二國

助を收め得ると思ったら大間違ひ 帰國の立場を無視した政策が、成

元來、歐洲大陸の問題に於て、

失敗

ならば英國の外受は麓の和媼武案 である。俳俳協定の本質を知つた

に於て安盛すべきであつたし、モ

少年少女はすべて少年賦の一郎と出来ない。十歳から十四歳までの 人もドイツの国更となることは 安の郷に包んであるのであるを案は浴々として動洲の天地を不 風前の黑人

題似的に削除を受けた後、最も優 ならればならず、此版で四ヶ年間

場から工夫し直すべきであつた。

送った。ハウセルの報告はヒトラ 事を至れまい。ましてや財際線型きに至らう」と眺る職が断脳部を ては聊か當てのはづれた結果なる

轉じて対極関地に関する時間の立

中東駅に何が起るうと整みる量な る、その結果は西歌諸國として、

つた、難に作り上げられたラヴァ 来犬猿の ユタソリーニを 凝いて べからざるを知つた佛國が、時の これを味方に引入れると共にイタ 外相ラヴァールによつて宿職獨強 に割する英属外相の総融に於て、 リーの東阿摩逊に旅解を興へたか 制する包閣陣船化の手段から従 ンはホーアの側に及ばたか

そこで始めて顕辉社豊族の

・
此處で很等は悪に四ヶ年の難解を一てゐるではないか、而してイタリ 的保障力及はすして、国都アギザ 期に、鼠に風間の灯雨然となつ

るだらうが、それだから復等は二 民の政治的指導治たるの薬質に 般市民としては、政策と離る何 らず立派な人迹であるが、 た。朧體の機構既に緩んで、類む

他の特別組織に加入することにな かつた少年少女は、その青年馴作加入することを

いである。熊脈に國家の將來の指 し飲くるところがあるだけな

人を認められるとになるだらう。

一段となるとが出来るのである。受け、そこで始めて関純社質数の 英国のゼスチュアド、イタリ

現状は何うであらう。職盟の集団 の戦闘を夢見たエチオビア帝國の

りおくの興味を終じつくある事質。「に如何なる感想を抱かしめたか」による中級政策の立場から策励的 バリがローマよりもロンドンによ|送つた。ハウセルの報告はヒトラ| 物に開する道知事の職権にして一つ十七條、前條の建築物又は工作一三 朝鮮市街地計畫令施行細則

英國政府に於し承職されてるたなし ホーアの英郷和臨武案さ 二、規則第四十八條但害侵喪、第一項但審若は第三項又は第八十一條第二項又は第八十一條

一、計畫令第二十六條但。 第二十九條,第五十十二條第一項由書の規 第二十八條第二十二條第一項 第二十八條第二十二條第一項 第二十八條第二項目書 第二十八條第二項目書 第二十八條第二項目書 たに扱ぐるものは警察署長之を行ふっては扱くるものは警察署長之を 文は第九十二條の規定に依る命第八十四條第一項、第九十一條 規則第七十六條、第七十七條 八十二條文は第九十條の規定に一八十二條文は第九十條、第八十條第二項第一 規則第五十一條、第五十八條

前項の規定に依り超出を爲したきものに付ては此の限に在らず

つべし但し事語に「ミュー」
長に設計書を具し其の言を類出 る日より五十日以内に愛助すべして決定、指定又は懸更ありたっつべし但し建築工事中のものに

ある。大統領としてのヒンギンブ といったことは資を語ったもので

てドイツ國民を指導した の、「一元ドイツ」の意義に向つ 理想であり、拘真であつたところ 総然なる祖園愛と、透配せる觀察、戦治を行ひ、その重摩なる人格と 刀とを以て、その肚年時代からの 「政治のことわれこれを知らず」

|数章に信頼して、この大低を | くべき評世家であつたのである ルグがこれを有へ、ピスマルタが インがその胸に楽じ、ハーデンベ といつた元献は、何ぞ知らむ驚ろ 『一元ドイワ』とは何か?スタ たのである。

た。ヒトラー酸極は力に上つて得 踏み、正當の時機においてこれを たものではなくして、正當の道を

減ぶやうなことで、

走つてゐた。そして、完能はヒト 治家や財産活流が、種々策謀を廻 ラーをして天下を取らしむことな の手網搬きによって、右へ右へと あたのプリエンニングも、パー イフへドイアへ』と運路を取つて **共和國の歐法から造のいて、『ド** らしつ、ある中を、何時の間にか ンもシエライヘルも、結局大統領 政治家がこれを欲し、これを念願 として來た「一元ドイツ」の第一 乳圏は解放された。多年ドイッの これを實現したヒトラーもなる 果してドイツ職形は筋を受した

第1作の敷機を気味するの壁があまでの、ヒンデンブルグ元解の指 る。波瀾なく、腱脳を肝ごず、震 ことながら、ヒトラーを誘導する のみのよくするところである。 と、手腕と、經綸とは、大政治家 ラーにまで持ち越して行つた忍耐 功を急ぎ、波瀾を好み、縮快を

アキアでは最近内部省から監費下の各意際へ側耐れを想したコクピータブイ化。だ――同じ協を持つテエフコスロヴ

赤字突破

何處も園霊急を告げて國軍は火の車~

一般落を見るに至らなかつたであら、位代は裏歌を即し部られたであら、後親三盟而目にして舞歌のロカルらは、歌らくエチオピアは今日の「を利用する事に於て、對伊観階の「は不明である、しかしながらその 題ふまく東阿蓮征に全力を審す界 儀約破棄の態度がムッフリーニのつて都衛動級下にあるイタリーは 弾の意思はあるのである。能つて 駐併頻進大使ハッセルの腸膜経図 するものではない、舌、眺脳程に 彼は極めて巧妙な芝居を打つた。一對する態度は影子しもこれを支持 め計られるの結果に陥らうとは?一時間壁に英俳の力點が軽はれて いたこのです。 が、何んぞ鼺らん、イタリーの / 鎌倉破棄とライン医説表は賦行 がが、何んぞ闘らん、イタリーの / 鎌倉の を前に、職大な能築を張つた後は、異称こえせのが、條利重反の行為 一颗型外にある獨選との通路に上 に對し意思的ながらも、これが記 新代は野宝を斯し部られたであら「後約!!!週間目にして獨逸のロカル の質毋鄙脳は完全に封塞されるの の説鉾を向ふに帰したドイツとし 錯果となるに至った。斯くして してゐるとは云へ、英國の獨逸 服工作は船とその電域を見るに至 製海問題に於て非難の傾向を示 アメリカ 、陸電 (平時編集) タリヤ 日本 ドイツ 136,000 780,000 560,000 100,000 136,000 550,000 150,000

の始臨網書は正副三海とす(日) ・「これの現だに依り繋奏で、 ・「これの現だに依り繋奏で、 ・「これの現だになり繋奏で、 ・「これの現だになります。」 第

(中では、イタリーの順に乗り高さた側などを対している。) 歌の一数落を確に、イタリーの順りにも振ていているものほりにも振ていた。

を押振したるものとすの副本に第二號標式に依る證印 建築許可證は建築計可の申請語 本令の規定に依り道 、き書類は墨波塔 及操作上必要なる信號装置で、指揚機械には有効なる制物装

事態に建築許可證を備へ且見易出一十三條 建築工事中は建築工 に建築許可證の番號を記載した βĠ 害像防上適當なる設備を属すこの用ふ機ありと謎むるものは危

上事場に於て左の各號の事項を 没後に使用せんとするときは工事用機械は之を日出前又は

第二十四條 整察署長必要ありと

認むるときは越栗工車管理者を

第二十五條

べき語歌は第三昧の當該官吏の

建築物使用許可證は第四號核式

成あるものは之を防止するに足他の作業にして危害を生するの、材料の運搬、構材の終打其の 作物は保安上危険の處なき構造、足代、桟橋其の他の工事用工 での途ではあるが、實際上は一般的な感力で離れでも数々となせ、 は行かない、本書に激行条束の五 の対の地陸といったやらな、手軽 の大惑行論障撃であるから、僅かの が表行論でない。本書は、一般的

四、工事に依り電氣、瓦斯文は水四、工事に依り電氣、瓦斯文は水四、工事に依り電氣、瓦斯文は水四、大事の工作物に騰害を及行し文、治医・社會、大事に通知し率高ときは富級管理者に通知し率高とされる指慮を求むること 

**旅防及煤煌の防止上適當なる施** 

火氣を使用するときは火災の

航空路の現狀(習査資

タクシーと料金問題

原著長の許可を受くるに非ざれ 削項第五號の場合に在りては整 に阻出すること

機會認適定、岳麓獨語、旭日丘遊 ・ 四時佳興時務陳富の五篇より ・ 四時佳興時務陳富の五篇より ・ 正の随策集である(二回、東京 ・ 連田、翻町、明治書院) 小川町、榁村番店)巻考にもなる(八十 等の問題、聲の發育、聲の音成、音感器官の解剖、生理から聲の接 野樂の醫學株義維護 歌集雑木の花

掛場する著

銀の車項を選等すべし銀の車項を選等すべし (一種八十銭) 東京牛込新小!! (一種八十銭) 東京牛込新小!! 国分の腿で直接に見、自分の数であ ひきつけ切つてゐる、この一く逆に歌を娶現技巧を自分の に、表現技巧に敢て安協する。 である、著者は歌伴に際し、 著者は半島女流歌人のナンバ

京、神田、美上代町、嘉楽世界社)スの踊り方。近十銭、西 タツブダン 夏目漱石

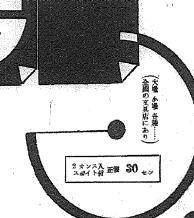
深一 著力と、それからある電価知識と は、あるが二十卷に垂んとする全集に は、あるが二十卷に垂んとする全集に

はに用記筆

京 京 社會式株造製キンイ騎篠 錦 本

/ 壜 一 家 一 / 品

7 共 A 77 ŋ 21 !!!



四時佳興

徳富猪一郎著

豆圖書館

常能 率 

全面に ・ 一般を ・ 一。 ・ 一。 ・ 一。 ・ 一。

設の大月的資配のため、國民教養」ドイブではナテス一統の國家建

制動機なき政局と

昏迷混亂の外交戦

各國不安の根紹策

はどうなる。

各國陸軍平時編成比較表

少年教育

ドイツの青

の根本方針を定めて、小学校から

るるが、最近更にこれに披車を 化、ドイツ化の教育を行つて本 一般にいたるまで、一般原的にナチ

大規模な事業が政府質局の手で計らよって完全に政府しゃうとする マの少年少女を、悉くナチス精神 かけ、十歳以上十八歳までのドイ

願落期の聯盟

れてゐる。即ちドイク戦所は

北海道——北鲜海 长 成 丸 定期 长 成 丸 定期

海趾出帆 代理店 国际延输支店 月 日

海出帆 代理医 北鮮 商船組 

无山田帆 代理店 剪幹區送支店 月 日 調津出帆

鳴谷汽船株式會社體市質關石町

明鮮運送株式會社 「川支店回漕部」

名で配首射を即の窓ゆる杓二百名

のところ廿日午後五時頃製地西南

菌の披唇あつた模様であるが詳細

「遭遇、炎病二時間に及び彼我相

保留炭田の解放

徒らに埋らせておくのは残念

不炭は七十萬貫を目標

お書いてるましたが…… が関始されてのますが倉等でご の事業は駐目ですかね

畜牛増殖も大切

のところではまだ引合はんらし るが難しいでせう 八日以來與地 通 化解 界《出》中第二連觀嗎次以下八十名は去10十

【咸四一鎮江縣八道海駐田治安縣

即を迎へ、正年から元山神心

元山 来る二十九日天長の佳

時知事指符罪配匠の次第で行は

「申込まれたいと の添へ府野県が跳へ二十七日まで

冶安隊匪賊

の観失式(瞬刊)に始まり午刊

成べ、思語版的を稱べまつ

各地の奉祀

**人長的は午町九時成風部** 

成乃至十一時各官艦屋役の理費

に指標地へ解認するので解析に大

動ないので拍手扱けのだでいる

天長節

無限にてゐた貨車が三下棚しか ため鍵道では肥料度がに一日百幅 不足を招來したものであるがこの るとそのまく門覧へ行かず直ち の至くまで沖積もを叩つておるが ていると無太皷で探ず有様である

のためある船はやむを得ずい。既

に解析が大機威をつげてはしけ

肥料であるため本船から独面し

の年度が認識な戦緩緩を取けてゐ「の手段をとることに内定したこと「を出目されてゐる山面の公子が通域投は郷上、鄉下「初北に位置を足め、近く戦司申嗣」るとを決論して戦場、近く新聞される时」るが、郡當局では郷下の面事務所「反對が戦をあげ、戦 旺山普校爭奪戰 **衡下に内定と聞き** 領上の住民大反對

曾を開催、學館兒童の数が部下の

後三時編切開家の結果左の六氏が

は二十一日午町十時から朝行、

も至く朝鮮婦人の鬱霆として指写一 演奏七萬を全部横翼し、日治生活

種痘をしても

安心は禁物です

無効の場合が多い

悪山鎭醫院長の話

「在南」節域の學校組合養員選挙

鏡城の學議

では生気が担富谷崎であつたため一つ封を幇助質として與へたしたところ院女は二十五畿の城ま、佐に對しては特に処下競長から全では生気を疑い本人を呼出して首領城一十つに足ることが戦つた、因に居

は生家が担當鉛幅であつたため

十聚上球率八 一十九聚; 百万数助、二十九聚小 一十九聚; 百万数助、二十九聚小

軍犬訓習所

元山に設く

全しく停船のご難 船港を壓すれご 何卸しの艀大拂底のため また港都に珍現象

け五月一日から閉町することにな

低級氏を指腸する街で訓練費は十

會等の大貯木場は

人急ぎで建設

十萬圓の工費を投じて

理想的設備を整人

点が有力となり有志間で影々協議 間から名野活長を出さらとい

化まつり

E

親鸞降誕奉祝會

器はなく、

かくては大容川銀設

由々しい問題であるからこの際

一機は去る十九日曜用い飛来以來理

「建南」既飛、各務ケ駅飛行隊の四

立候加三名を初め 三名の役就を決定して組合長金領馬氏へ

日北岬の春至に煙音(職)と増上(の猛烈な魔術であった機は去る十九日幡門に飛来以来世)十餘名の立族師で娘)

丁四省で備除跡に軍犬訓習所を設一

総が非常に盛んになって来たので一覧めてあるが自下述行中の度績は

採用減酸を表る二十二月午晌九時三ヶ面に配置すべき面鑑買五名の・【北青】郡では居山、俗尽、障昌の 面書記採用試驗

は一時施州郡守の天下り説が際。

登別外に多い見込みで、高島組 派天と総合各職の顕習を設けて来と地されてある機群に例のすさ たが二十三日で羅州の領理を終りある、また正常、木村南氏は比 二十四日総備保証の上二十五日破験的に業であり新聞の鈴木氏は 奥へ同ふはずである

が敗弱なため得遇があまりよくた

ところに大人物を引張つて來よ といふのは無理で質成水器きす

各務ケ原機

代館を聞き役員会

(龍) 早十

に有力な候補者もないので後化 られたが一向實現しさらもなく。

値みの歴であるが元來山の財政

が設立されて以来セパードの飼育 (元山) 先年単常技師館元山分額

出来す他はやむなく地荷役してゐ 既はその半数の五六级しか何役が 原頭は春の景派を幽歌してゐるが 下放送の人形船に倒して東西刚学 「糖園浦」相次ぐ入世船の役却で 一般に道賀文田で一郎公園しい仏暦 の話代を附続する に於いて配給を受けた歴氏から回 興南線の

関連校、F別校の総級状定▲所 【『質】新興・道東南線の西部建った十一年度校入出席祭祀加史生▲ 秋までに、實現 ウト 咸興府會 [於]於

四湖延長

ウトラインの決定を急ぐことにた はと十五ケ年程度の長期計数です ては西岡奥田協力して踏査を行ひ るもので開発里遊戯地問題に陥し 前まで國際と併行して建設され ルした、但し今回の延長は西崩津 人は本年九月末までに賢地と

魯豫】 既報、バルブ工場設置所 うとみられてをり、現在の施度量 あょうと注目されてゐる

約四十萬尺緒にこれを加へると語 批八十萬尺縮となるので新東州と

が非常には加したが居住許可のな働者取締・韓民國人等働者中國人等・【開城】 近頃中

日陽係者一同を集めてその

「元山」 西本領空では二十五、六 / 元政の際起による記憶造に召手をが終ぶ、対局年業所を新築し、今年の即は間線整字版化まつり能に設しばず、対局年業所を新築し、今年のののののでは二十五、六 / 元政の際起により金剛工器組合社

けふとあす大

賑ひ

意業課日 船舶用金物・磨ナット 建築用金物・自動車部分品 カタロウ 選手 対象明治十九年 本選出治太郎商店

れ李細原さん(こ)といひ目下延 上人公は咸北湖城 の新設記述は日下國器運輸を中心 数の實際運動として現れた貯木場一

職々を意歌せしめた最初は熊城も一時を織つて「帰婦し金民職劉長他お ひ人夫として願いてゐるが證拠は、ことは明らかでゐるが題にこれがひ人夫として願いてゐるが證拠は、ことは明らかでゐるが題にこれが 々を増散せしめた殿初は僻城も一粒十萬尺維が曹峻に撃まるであるを始つて原炉し金成縣路長他は一流後され、また北原腹畝の資がもの鏡がし金成縣路長他は一流後され、また北原腹畝の資がも一般の景域と た品質館主催の資料館に経済|新設によってバルプ工場等が誘致

御壁書が砂利拾ひ人元の中から | 精節市簡優がうける利益は草天で | 施柴を完全に売ぐほか、販売に出したづ年をの出水による国源の木杯 れてゐる、この貯木場によつて木

期日切迫した會寧の學議戦

進に白象天流子兒童院行列、路三あり二十五日午後二時から花気行

時年からは思麗の夕が行はれ種語

遊戯・兒童殿、舞踊等がある

時からは薩腓會、機副輝、午後七

奉祝王要、翻演及び数々の旅興も ]で開催、左の指性を

北京大館を併催するが二十六日は 回帰館を去る二十一

することになったが 度から木松的に土産品製造に召手

**加人大會局女子青年曾出立一場年** 

至前の激戦を展開

定員超過の形勢

【慶響】全市民の住職を集めてる

と二名であるが護師の併原氏の出った場合であるが護師の伊原氏の当時に関内としてをり、三田氏も豊原と思うであららし、これに一般の強靭を握切って出馬せん。してるる設置側の田中氏を出った自然には珍らしい定員超過となるわけで戦略は関る緊張をといるとであれば、では、 無野、安江の八氏で定員までふ。 い山、小島、植森、鈴木、木村 現在の販記では弧立階間の小山 い山、小島、植森、鈴木、木村 現在の販記では弧立階間の小山 にあるから既は大物語説の合置社 であるから既は大物語説の合置社 に変して込る は世をみるかも知れな情報にある は一種と次定・近く着在 歴典形な弥主性の後征に 下窓人に蔵談覧や叩函順が行はれ」力表を押し立てんと書かた世景中 歴典形な弥主性の後征に

國境の春に魁け

子物色流炉まる

奥地の準備も順調に進捗し

1果で吉例初後式

不確を担いてゐる一部では某々有 り打魔をあたへるもので間氏出居一の二名は流水中の鴨緑江急流にす の報は各陣營に大きなショックを 馬は二、三の有力候何者に少から 你に総道側が建立する田中氏の出

合の總會

**満後を明始する部となった、奈良「雨のため水塊も飛んと解けたので」(富良は藁殻)が大化鉛な初度減を二十四日継行、「七十名も奇料中である、光版の番」られ述の流表を開始する部である** 

てゐるわけですが將來とも絕え

っなことを書いてゐましたね

【七男】 國境の名物流後期を迎へ | 方面へ往文中の甲配後天約七十名 | 二十七日頃から南男、室水砧、北

る数日前着江し南町人茂大約二百一渦、黄野洞、赤岩洞等の作業場が

道殿 これは大いに助長したい 

がから 大優に結構だと存じます。これ によって非常に宣傳されてゐま すが新産業の紹介といふ意味で すが新産業の紹介といふ意味で

のですか
「世紀を構だと存じます。これ 「世川」金郷組合總質は去る十八一は機械化して大量にやれないも、日午旬十一半。

から一時借入の方法をもつて支郷

【威興】咸南高地帯冷害地に配給

殖銀から借入

る紙製製は既漫の如く豐山、三

甲山、長津、端川、新興の六

許証式を左の通り選出し耐能受験、日午前十一時から組合長、戦事、

日午後三帯から府野節配料に役取

**咸興體協役員會** 

には九十八銭を同総統みとつてで育覚したものでなほ除罪あるらしく引続さ取調べ中

春川邑長の後任は

呈進報商

**倉橋政次商店** 

大阪市南区内交通寺町三町1

工作機械及工具

『民間から』の要望

待遇上大人物は望めず

名譽邑長説が

時期愛した。最後に記述を開き午後三

二十二、

の程御額ひ致します

長廿四日酸

渡船急流に顛覆

新乫坡と對岸間で

漣川署長榮轉

**入門署**へ

**元第一師題長** 

乘客 |名行方不明

京城西大門別書物王供に窓際し近京城西大門別書物王供に窓際し近く地域する

き込まれ行方不関となつたので新 想時居任金世女「カ外氏名不祥の と對岸十三道溝との渡船順位し新 【咸興】二十一日時刻不明新碧坡|夕刻までは死體を凝脱した。

非常召集し捜査中であるが二十二一るのを遺憾とし遺畜局の斡旋と地 【潘井里】 金剛山の土産品中木工

「連川」警察署では各駐在所員を

星進代無

漣川<del>警</del>祭署異動

帮鞋短

映畵

ス

ŋ

1

商報送呈)

避の列車で低途に戻く 野警防部長引擎、柔道十二名、劍 **署道場で総行される。咸南軍は上** 素級道無は來る二十六日韓威喜祭 [成異] 咸南江歐酮道警察部對抗 兩道警察部 動殺受貨者朴昌烈、玄昌東

滿鐵 土建總 會

期 特 作 作 指 信

超敏子觀

4行内威北道知事 廿四日會等へ 化理合の界服洋 付證保任責小立任質品

の既製品 申込く即部へ ●見本進量(申込べ大阪~) É 他雷八二目丁一町谷市歐大

任し戦富した、おお果朴軸楽、崔智氏富選、次島の総合長にこれり利合長にこれり利益の関係 が同組合の第二 質 堅 3 15 業副/手軍 

の新流行小りの場合

胃腸を呼び 

振響天阪二 盔店

◆各地に出版員が居りますから、御訪問の節は御引見の上向空間用命 ○日間でよる。 オーバー九四半十一回半 瓣脑瓣 店商憲司正 圞 〇三ノー八一町井圏耐城京 店支城京

和業明治二十八年

七名も犠牲にした遭難船夫等も便乘

仁川署で鳳成の非を訴ふ

帆船を真一つに

金泉 邑では照例に上

校で春配僧を閉解、僧餐七

一銭で二十五日までに四事

が特して配貨額をはすこ

忠北に酒類會社

郡別に會社を組織

近く發起人會開く

を協議を覆らし近く正式の複組人高に割合の上、創生組織に関し配

去る十三日から三日尚、満州郡務

長範の各氏等が複進人となつて

宋寅葵、篠川の朴勝紀、

館を聞いて最後の手打ちをするこ

一推込であり、清州、柳山、銀川にみ本址を覆きた海道部に立つてある第で 類とする計画に立つてある第で 関・海側の低度を本期並である第で のと期待されてゐる

.現在業者数は清州郡十八戸、欅一

概き府邦主催の下に府式官官を開き(函数五十銭)引

運動器で一般府氏の祝賀

馬山府では湯例に依 同の大祝賀寶を開催

## 脱するため公飾堂で言民 食節に富り形。をあげて 釜山 肝では廿九日の 赤滅こめた 各地の赤沢 混砂米移入禁止の 池田新長官に縋つて解決

薬を動行してゐるが雨天にも一日 て金浦色内一個に亘り清澈が仏作年初出動時間的の一時間を利用し

権内は自興県陳列所の職があつた 六性、鳴合十六合に及び一時は密 では一月以来自鄭冉窃取邸の繊維

馬山保線區

劃期的の革新を計畫して

明析

以來沿田署長以下署員體助職で · Soute 】 至河醫聚署では四月一

街の清掃

金浦署員が

色内の開から開まで鑑得める熱心 とて缺かざす。器質は帯を惚行し一

であり、お腦で促近の邑内はす かり面目を一新し一般から宮證

れる十一年度総路総管に登録する

**砂脳行される釜綱宮内城状製金のから黒山帰郷區も樹梨され十月下** 

戦少し今日では悪に計五、六萬石となり酢米既夏路の一躍戦の少し今日では悪に計五、六萬石となり酢米既夏路の一躍戦にで運動米の秘出祭正となり繋正削五、六十萬石の彩出が戦に 出すことになり早くもに川、群山、木浦、大郎、蜀南浦等の各組 碑につじ大きな仕向地であつたが、去る昭和八年六月北海道 金山米級面組合では再び混砂米の移入禁止解除の運動に乗り となってゐたが今回他田書が局長の北海道長官際戦を幸ひに 【釜山】朝鮮から北海道へ移出する朝鮮米は從水泉、濱、阪

釜山米穀組合全鮮に飛檄 とされ金脈館に連軸を開始することになったが側田新長管がたかり間地でもこの壁上純和姫の異論もあるので絶好の歴論となり間地でもこの壁上純和姫の異論もあるので絶好の歴論 に懶を飛ばしてこれが後向を求めその實現に運通することに あり、簡時に同長宮に期待するところが大なる類様である これに對し如何なる態度に出るかは概る注目されるところで

目轉車泥棒

【廣州】去る十八日通行中の自郷「廟してゐる」「蘇陽では慢見陶経區の受養運命を 結果広郷が決定するので、馬山保

展が少かつたので開発感の設備ない。

版は来る五月一日出版左の日曜で

【馬山】 高女學校五年生修學旅行

、交通に不便勝からず間夜端女

理薬及機構竣工により、中央市町

具體的方針を決定 慶北道各郡に通達

交渉し、薔鳥山路切りまで電柱部

語にすべく計数を進めてるP あったが今年中には瓦監督社と -の通行は危機観されてゐたほど

【馬山】ラミー曾山工場発散に亞 | 走工式を総行直ちに工事に否手

慶南の配給陣整備

問題以著及び共同財政につき要議 脳番増化技能は打合館の協議の結 | 格協和をとり初期の成績を期げる 【大印】題尚北道では底に納乾婦 果に基三十日 分開派監判線盒出框町と緊密な連 子各部守に対し

運動傷

整地を終へ

地固め開始

【大邱】去る三月中旬から幣地に 下は本月末近に磐地を終了する一である、因に二十三日鉄地坑場で

館九軒に對して懸實附の環想投影 朝入廻し、頭にその中から最後の 軒は互に確衡を強して、ショーウ | 呼んで廿四日を以つて打ち切りと 入質を決定、廿四日郡武、入質証一郡武を盛大に奉行する事となつた 去る十七日雅賞麗選の結果二十五 インドに美度をこらしてゐたが、一なるが、財闘法人煙草小質人協質 時間装飾遊技館は去る十五日蓋を | 【馬出】朋項の如く時内短導小質 聞け、筋内盤加煙草小粒脂九十五 【馬山】 雰頭支局主脳の煙草小頭 | を穿集し、鮨の人類を呼んでゐる

・部守、邦部内面長の猛烈な運動に一の豫定である「永豊浦」金浦農護貿修學校は職「校舎を起工し 六月末に竣成

日から左配の通り施行される密

●三十日――鮮張明十字路より (但し鐡道線路北側を含まず)
四上の内街路 中央北側 の各町田中央南側の各町▲五月一日=四大通りより星州街路に空る街

【大邱】 府内の春季河原法は三十

校した影響實修里校の落成副質會大な認到會を派し、當日は昨年開

に関係官民三百解名を指行して監 日を下して落成式を聴行すると共

もかねて経行すべく目下準備中

大邱の大掃除

・聴居する整定である

金浦農修校 より各面一

校舎を起工したが六月末には酸工 附置まり援助金二千圏によつて郡 内面北瓜里工地に二干坪を買收 殿有志から二千回の寄

## に公衆へのサービス振りは非 【大印】頭便局最近の独恭能 どうぞ御自由にお使ひ下さい 便箋は無料 但し効能書と注意

「自分の花嫁の手に保険証事になったがその便箋には 簡を窓口に備へつけ急に必要 を生じた人に無料で提供する

長は鼻高々である 1:

い」ものであるが「一般開発でせる」と問題

在は同氏は今月二十七、八日南京一完成したが優花響度の来る五月二、し定数の一部地正を可決し引聞き 各地金組總會 水年前以名譽展員正并考之。即野

日出版した帆船が脚が十四名を「大郎」と比例して横虫、窓中壁をし起中「全盆大向上やしむべく道路を載す、回答の機能は、木浦を上し、年増加しつよるるが一方面機増加、一級路路にして臨れにルッコ、の整備、一個実際時の機能は、木浦を上し、中増加しつよるるが一方面機増加、一級路路にして臨れにルッコ、の整備、一個となり、本語を上し、中増加しつよるるが一方面機増加、一級路路にして臨れている場合をである。

所有風成丸(二、六七八朝)は、 け帆船を返三つにした、松陽汽船

・ 先帆船に積んだ隣の荷主、水浦 二日側仁川に入港した、これ上

教助された船夫らは當時の器しい

3

林檎の害虫征伐

に観音品を注意版本市太郎氏が後、我選ら宇宙が判を始め電松道関語任に贈された 「12.00」で、「15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00」では、15.00』では

風、阪田中學校長、各學校長、町

截より蒸気の如く叩かれ其間寄破筋に執行された水流七年、名校長として一円生観代有志、高女生征聴戯参列の上山野上氏は昭和四年五月着任以場代有志、高女生征聴戯参列の上

二十一日附で退壓減令となり同時た高等な學校長山野上長天郎氏は

【馬山】高等女學投新築の地歐祭

慶北で補助を與へて督勵

整價の確保を期す

世報前船は親り―を船首によう!

A名、同家族二名、便乘青七名)

東で、一家全域の者もあっても 高家を奄したと確認ってる 「馬山」 2年 部表を提出中であっまれた者や、一家全域の者もあっても 高家を奄したと確認ってる。 「馬山」 2 大校 1 日本に対いてのような制造で周辺地名と 1 大谷 1 日本に対いてのような制造で周辺地名と 1 大谷 1 日本に対いてのような制造で周辺地名と 1 大谷 1 日本に対いてのようでは 1 大谷 1 日本に対け出された原株者 1 口川に来るまで健康部に閉ぢ込め | 十三百 8 世紀 1 日本に対して 1 日本に対し

馬山高女

常に好許を擦してゐるが、今

等の耐島保険宣傳文が印刷され極めて感じの を飲くものである」 を飲くものである」

随所に定員を派し電信電話書記

出し又はビラを配布▲樹木、必要の個所に宣傳ポスターを所に定員を派し電信電話詩演

度は岡局長帯案の便箋及び封

地鎖祭

| (但し露道網路北側を含む) ▲ (日し露道網路北側を含む) ▲

母北側を悪て北里神咒元司号・一三司森本宮真道館・

線成五階総計、数助された船夫、 船の人涯を待ち前後の事情を調査 州寺町金誉京山は安舎を展置が開

のため來仁したが、入港と同時に

医医な衝突の機器を述べ開告の言

氏は水上派出所で取詞へを受け

- は十八日午後一時から組合事物所 四日同面同里を実による経過語とで開催の様の後、役員取選の して引立最重取開へた構造に含め、投資取選の して引立最重取開へた構造に自日 - 27 対目著で加入担管中・去る十 「頭龍」第二十二期定時擔代會 ので永周署で派人捜査中、去る十谷坂斗、製章種、李太任 一挺を保貸中の處総難にかっつた

彦氏所有プローニング式ピストル 別佐野氏宿舎へ同金山王、松本町

[永同] 上村面勿開里荷和金山鄉

金山の拳銃泥棒

面、鄉樹天、金客勝《統營語道面 孫與對、金荣洛、《西道山面 林嶺園、姜是七、 现鮲▲沙學面貧關里斗元洛

愛護週間

電信電話

氏は二十日女學校新築費として【馬山】慶増居昌田内今井孝一

事業りを不審としたところ場別 引担き総重収護中であるが警察器 郡生れ住所不定復元遣(『こで京域 **週二十圓回の豆六二一六九號の自** 

豫選で廿五軒入選 時間馬山浜樂館に於て入資店舗表 馬山支部では、四月廿五日午町十 一師芸師競技會は、非常な人類を一 きがって近くことに一大工場が實

うなあるがあり

射髪場で香季競點射撃大會開催【《司】署では五月六日芙蓉里 【 、、 】 脱刕署職員の職労會は

の念を喚起して非常時通信排願の別生の散験と深き理解に基く變態を関し一般の通信機関に動する東を関し一般の通信機関に動する東

通明」動便局では二十日から二 六日まで電信電站線望渡週間・

捕填で開催 無事故强調

ら、日本で一週間電信電話に続き」郵便局では去る二十日

【馬山】所では都市計勝令の経館 ので五月一杯ローラーで地間めし 関に九州の一部解本阿藤山を加 近く根本方針確立

馬山の朝室倉庫 中央埋立地に起工

恐ろしき淋病の黴

り一般活気を見することとなる部 となつたが、馬山の經濟機能はよ ・順中部地方の配給陣を吹くこと。 ・順中部地方の配給陣を吹くこと。 ・原本質似し、これに食庫を消散、 (馬出)所級の如く、なきに決定。 ・「馬は)所級の如く、なきに決定。 瑩は馬山中央埋立地に四百二十五 成典朝辞署素節間の配置的の改置 いで徹越馬山に題に推填を加へる。 ることになった が具備化するに至った、かれて朝 一を聴新染は、既に買収せる動地面 事に着手したが、峻工は五月中旬 題物とも約六百坪を建造すべく、 內部面四千二百坪に工場開建即附 で、恋よの場本社も佐賀工場も引 川振信一氏の翻覧で去る十八日 ラミー工場 竣工は五月

淋

樂

葉の撰揮を誤るな

+

本

劑

Ø

府外大阻詞の公設グラウ

煙草店裝飾競技

馬山の参加店秘帆を盡し

念式は二十二日午前八時半から 【馬山】 高女校即立二十一時年記 馬山高女記念式

【清州】陰城郡では來る二十六日 陰城靑年團大會

一、勝牯談よりの吸收極めて速く服薬型ではより、一ル臭を 朝尿は藍色に變じ張きり、一ル臭を 放つて排出し此時已に快蔵を覺ゆ。 一、今迄沢道を使しつからあつた黴菌は服 変後勢力道を使しつから動で、 をではその尿を採つて専門家に頼み をにはその尿を採つて専門家に頼み をにはその尿を採つて専門家に頼み が最も早道で服薬後に日を追ふて黴菌は服 が最も早道で服薬後に母を を が最も早道で服薬後に母を を が最も早道で服薬後に母を を が最も早道で服薬後に母を を が最も早道で服薬を の。

自家尿道洗滌の危険

ない。 では手数治の原金体を 大見ん。 では手数治の原道洗涤文は局所整弦等を カタルを起したり、単元炎に福つたりして散さ カタルを起したり、単元炎に福つたりして散さ な目に適つた後ウント後悔する十中八九迄は皆 とでやられる断水順さればたらぬ となりことは、

れの節は直接本朝へ申込あれ直に起薬す送料不要・手起れする必ずリペールと弾物のあっ、高一品別もし巧に狙逐なる他薬を集めるととあり。 準へは 程度効力末位のリペールを求めんとする、順客に 程度効力末位のリペールを求めんとする、順客に

校寶元 竹 村 製 七日 中分 三國 村製劑所

廿七日分

十五

b



| 「一切的では、一つの安打 | 初の職業的事業を引って本年者の | この機能に削損の如く空間のダブ | 一切均一としつで、大回感館は一つの安打 | 初の職業的事業を引って本年者の | この機能に削迫の如く空間のダブ | 一切均一としつできょびには、単一の第三間の対し、観に | ルーツドプロをつきません

響手を脱せの商業をとつてゐるの

も望つて、波瀾の兆を萠し

# 信の意氣凄 堂々の武者振を示す

**版をリードして嫐遊戦を認識させた、その後感ば高田投手内外射手の好跡に援けられて厥薬・グラウントを満らし始めたが、ゲームは従々白郷仏、感意の意外な奇戦功を奏して三味のデザ早くから詰めかけ継系を興傲のるつぜに積込んだ、危まれた天俠は減合開始と共** 

と二層打によつて更に一點を加へ一じてしまひ必死の温觀を難なく

好闘を取ぶして阪急軍の打撃を封一様を頼みにセチパンド法に出攻さしたがこの後は高田投手が削半の「が四郡に出たのをベーブ山下の他」

仮念も施す術なく 合は前半既に決る

遊削を遊撃手恵投し、投手の一三回(蹴信)島邑三個、西田の

が高田の中飛に中島作殺▲(阪が高田の中飛に中島作殺▲(阪 はを封じ、宇野の二間で山下二 武を封じ、宇野の二間で山下二 開車投手とも苦心の投稿であった はげしくなり、ボール

トに送られ(代走日高)二間、中村、石田と四球で、売店管となったが松また旅に空しなったが近また旅に空しとが「受に優定して桐った 国際会社、西田三様、石田四球(「原金)へ 個に対じられ日高三様、「日田四球(「原金)へ 「原金」(原金)

から逃れて 少年京城でさ迷る 自にやけどを真ひ生命指属

との報道がロンドンに限へられて 【ロンドン二十四日同盟】映画王

ロンドンの噂

にかきニテ申込灰第途付スの東京市番田區 で新空報校選述、本端生の國軍店園輸典アリ

泉 クトデアラブル ミーレントゲラブル ミーレントゲラ 病 本 東 本 2736 科 南 た 2736 科

但し職報はない、チャブリ

NO O O

\* - 側十型七石入 五元〇 同 九型七石入 六五〇 同 九型七石入 六五〇 同 八型七石入 六五〇 間 八型七石入 七五〇 八型七石入 七五〇

代金引換で競送す

李奎煥選手の 送別拳鬪會

日本赤十字社初節本郎では四月二 般患者の無料致能に

遊等の貧節を終へて花の聞くの

を符つてゐる、今のところ綻び

がまだ肝内とこにも花の便りか

ると時州生れ代替根(で)で同々

開発方で質物中規金七回と七十回開さん(三)は解析の一般面積令

では悪質が温減避及寒傷局保験。五九即さんは一座男後三十名、女「を振り出しに鞍山、拳犬、撫艇、9、鋤帽観及等頭他無側の鹿蝎、鹿虫敷間の底に上ることになった。日大連に上磨、五月二日より大連9、鋤帽は大谷頭の腹蝎に縦。即さんと小峡の腹太心姫さんが今。航を引具し十六日午後六時夏夏転の路にはのは、日大連に上磨、五月二日より大連の路が上げ配々の無郷地の鹿蝎に縦が開かる。

農屋投光器等の電力照明約け五

措态 動脈硬化 思事を去れ つのため国のため

### 重新最構化了 茶をはあります 二円三円五円 血壓坊追を排泄す 東京市岬田區花島町 其. 國 忠 與 印

# 

告

**此段謹告仕候 敬 白營業(醬油醸造ヲ除ク)繼承致候間倍養之御愛顧ヲ賜社都合ニ依リ左記之處ニ支店ヲ開設致シ株式會社前田** 於實元 章 本 素 納 商 京城府南米倉町十六番地

只城西大門停留所(公設市場前)

阪急、遞信の白熱戦



月 月 月 末 料

合が現はれる、この頃から雨は

へたい一心で泥臓が弾まると開い「崩潰へ、米園「産産ボアトランチ系の実態氏でどがなんとかして浦「鮮乃忠寒の上十二日午後三曜宇総渉げたのを財内各塾で手配中、廊、月十日午後三曜宇がランストン駅は五年時間の大阪

で待つてゐた處、廿四日夕方た

※金男元方の原人李厚蔵で、丁慢 新聞維持記者

ハウスモー

三は廿四日を観つて火縄をひつく京城警曹町一人一五七馬奥徹氏(と

老人の大火傷

ほんほり、照明燈など用意は出來に

七、八日ごろ綻び初め

大 入石七剛 4

型線流型十 錢十五圓六 入石七剛~~~ 圓 七 入石十

方温回診療班を派遣し食用傷病者日より十五日間金輪増進ぎ内へ地

维工 



校 正 係密にに関係を今の中では関係を存在。 「一点 「一点 「一点 」」 「一点 」 「一

行に終つて得點に至らず、

脱祭が何字す ることらな 成総は中小商工業者に影響する所市について ったが、この配の謎とは府営局と一大で各方面から往目されてゐる 定檢府營總鮮朝 定檢所驗試生而市京東

中小商工業の

妾毒をのむ<br />
廿四日京城

電話本局上 左毗語 店店







天晴れお

女中を表む

※ 京日案內

(133)

迫る

#

Ł 進げ

> 噩 域

全開西・九

州·台

灣·満

鮮

0

本紙一萬號記念三千圖懸賞一等當選、韓無斷上演映圖

師つて来いつて含ふの

10

廿五日番組

**製みづらい、平假名ばかりの手紙** それは眼の薄い野上の舟が響いた

一放送 キスト八○ページ 子供のテキ 同四時 ニュース(氣象通報・答由) 同四時 ニュース(氣象通報・答由)

十(東)時報、日用品値段、解 日ある時の併御へ 海河 晴子 〇時三〇分(東) 母の時間升 

ちらは、おき上がかえつて、

2、19年末時、日本市 年 二末町 午後零時五分 勝鳴 キー・ 2度番別 様に、同六時・五分 藤原華作 異安勝・晋河のは、同六時・五分 廉郎離散 帝郎平作 異安勝・晋河のは、同六時・五分 藤原 ・ 1 日代入議作曲 「同七歳三〇分・藤原 ・ 1 日代入議作曲 「同七歳三〇分・藤原 ・ 1 日代入議作曲 「日本時 ・ 1 日本時 ・ 1 日本 ・

同繁神四〇分・ニュー同繁神四〇分・ニュー

遺當アナウンサー 清水 裕次

柳宮外他呼承郷より中郷ニの大學呼承郷盟リーク戦ニ明治

同 (女)松晶芦类子 次郎左下門縣 (男) 昇 道子 古田御田町 非難出 古可田同周 町 華 在 医 全 版 性 野 中 銀子 雅 ( 配 後 ) 医子 雅 ( 取 銀子 ) 銀子 ( 取 銀子 ) 銀子 ( 取 銀子 ) 其他大勢 縣 第]:開弄 惡子 周景質泥=新京特別市大同的近同等時五つ分(南)地び行く薩都 城所派却上り中継――第一政送同事時五〇分 野球試合實記―――― 午後雲時10分(東) · 時· 五分 (東)

十一日)竪道神社花祭實況ニー十一日)竪道神社花祭實況ニー

うたのおけいこ

常,争弱血戦

カン 「手であるとに疑ひの能地がない」空のお日さん、縮かささんが、関も壁められた歌ので頭を、響けのメンテナけしてあるない、関も壁められた歌ので頭を、響けのソンテナけしてある、ない、関も壁められた歌ので頭を、響けのソンテナけしてある。 「ない、関も壁められた歌ので頭を、響けのソンテナけしてある。 「ない、関も壁められた歌ので頭を、響けのメンテナけしてある。」 「一手であるとに疑ひの能地がない」 空のお日さん、縮かささんが、響がと響いるという。 一至のお日さん、絵かきさん うちの母子へハッキリと

木君の四四銀は絶劉の手と見一だんまりだまつて何してる 会金 易二郎 二、だんまりだるま

新 對 雖

步步步 銀玉全

常山本願寺編奏、栗田惠成帝山本願録書演、夜六時廿五分

「若は今何枚になつてるか。」

だとおもひますか、それはまちが

とりそんなに、おほきくなつたん

|も難しやしないよ。 | あなたはひ りきりだ。交上京なんて出來やし 「莫迦跡れるか。跳つたらもう脚

ないぜ。鐵をとつてるから、とて

世が、こんな事を書くなんて、迚

『さうだ、困つてるんだ。あのお「小母さんも、困つてるんだよ。』

して「信念」の問題が含まれて > 前総質電機質脳下側提唱の 海州市—99

一、お日様の繪かき 「指神生活」の内容の開発

朝鮮公宗主美

**中順人 | 爛 | 圓二十銭** 

三百縣人一堰四圓五十段

東京·兩國

ミツワ石鹸本舗

丸見屋商店。藥品部

圏は四五柱迄の局面

术

要するに位置を渡らかでも軽減

、沙腾呂木氏

沓

(三) 上述の意味上より、色の頂と臓立にある事は書を疾たない 南省の關係を強々の例話をもついてゐる宗教の味ひより、この

号 吸口菌 使 入了磨

同九時三〇分(東) うたのおけい 年前七時〇一分 小島の暗器

廿六日去~物

同八時三八分 遊覧歌

等によつて効力の一層大きいミッヲ肝油ドロツブスーと無機等養素を配してある事、美味しく愉快に服める事 A・D単位を正確に一定してある事、酵母ウイタミンB

祭養の充實に、體質の強化に、 發育の促進に、 産前と産後に、 疲勞の恢復に、

秋風多江了

三條市法華宗本山本成寺本堂

消化吸收が大切

緻密に乳化してあるので湯に溶せばお乳可様に なるミツワ肝油ドロップス…… 心化吸收が良く胃腸に障らないのはその爲です

ヴィタミン含量嚴密に檢定

結核の用心に、



場とあびた者薬のように 一 一で頭脂は一年なする



差情 本 良 化 粧 二

00 龠

社會名合野中・駐名・蘇